
勇者の資格

紅姫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

勇者の資格

【コード】

N7870V

【作者名】

紅姫

【あらすじ】

本当の勇者とは？

ちよっといつもとは違う切り口で攻めてみました。

寝静まった町の宿屋から一人の学生服を着た17歳くらいの容姿の男が出てきた。

その右手には、神々が鍛えたと言われる銀色の聖高剣が握られている。

黒い学生服には似合わないほど不釣り合いな刀である。

男の名前は榊原秀二（せしかはらのしゅうじ）と言った。

この世界、心命世界を覆う闇を払うために償還された日本人であり、勇者である。

本来ならば、民族解放と大志を掲げた大東亜戦争に参加するはずであったが、何の因果かこの世界にきてしまった。

最初は、己の不忠義を呪っていたが、元の世界へ帰るために試行錯誤してうちに大事な物、守りたい大切な物が増えていった。

今では、たくさんの仲間や友人が出来、いつしか秀二にとってこの世界は守りたいと思う世界になっていた。

昨日、仲間と手に入れた、聖高剣ソウルブレードは使い手の命と思いい心、存在を力に変え闇を払う、世界最強の剣である。

使い手に必要とされる物はたった一つ”勇者としての素質”自己犠牲である。

俺は、宿屋から出てから最後の目的地であった無の神殿の暴走を封印する為に郊外へ足を進める。

世界を喰らい尽くす、無を唯一封印できる聖高剣を腰に差しながら歩く。

そして、半刻ほどで神殿に到着する。

目の前では、今にも暴走し門を破壊し世界を喰らいつくそうとする無が見える。

腰から剣を引き抜き、力を流していく。

体中の思い、心、存在が吸い上げられていくのが分かる。

自分の存在が消えていくのが分かる。

仲間達の姿がフラッシュバックのように脳裏を駆け巡る。

償還された時からおせっかいをしてきた獣人族の青年

文句を言いながらもピンチの時は身を挺して守ってくれる男性騎士
そして……

ユナ・

俺の初恋の女の子、笑った顔も怒った顔もかわいい、困った時も笑顔を絶やさずにいてくれた事でどれだけ俺の心が救われた事だろう。

だけど、この世界を救うためには誰かが犠牲になるしか方法はない。

きつと、仲間と言ったら止められる。

だからこそ、俺は一人で皆が寝たのを確認してから一人ここに来た。

俺一人の命で大好きな人たちと、この世界が救われるなら安いものじゃないか！

でも、最後にユナには、好きだと言いたかったな。

光が闇を消し飛ばし神殿には一本の剣、聖高剣が石畳みに刺さっていた。

時は流れ

10年後・・・

かつて、世界を救った勇者は、その偉業を誰にも讃えられる事はなかった。

闇の神殿に一本だけ残った剣。

人々は噂していた。

勇者が実はこの世界を滅ぼそうとした悪魔だったのではないかと。

秀二の仲間達はそれを否定したが、勇者の偉業を恐れた王や貴族達は、
国中に世界を滅ぼそうとしたのは元勇者秀二であると情報操作をした。

かつての勇者は罪人となり、仲間にも賞金がかけられた。

それでも、勇者の仲間は秀二を信じて戦い続ける道を選んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7870v/>

勇者の資格

2011年10月9日03時33分発行